

Weekly Report

(2013 年 7 月第 1 週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週（6/24 - 6/28）の動き

中国の短期金融市場の動向に注目が集まり、日経平均はその動向に影響される展開となった。週の中頃に、中国の中央銀行が流動性を供給すると発表すると、中国の短期金融市場の混乱が収まるとの期待感から、欧米の株価が上昇に転じ、日本の株価も上値を切り上げた。結局、日経平均は前週末比+3.38%の 13,677 円で一週間の取引を終えた。ドル円で 99 円付近まで円安が進んだことも株価の上昇を後押しした。

セクター動向は、このところ下落が目立っていた不動産、その他金融、銀行など、金融緩和から恩恵を受けるセクターの上昇が目立った。下落は中国経済の一段の減速を見込んで、卸売、非鉄金属、石油石炭など商品関連が上位に並んだ。スタイルインデックスでは、調整幅の大きかったリートの上昇と、バイオ銘柄の大きな崩れからマザーズ指数の下落が目立つ。

セクター動向(先週末比)				各種国内株式指数動向(先週末比)			
不動産業	12.42%	卸売業	-1.00%	REIT 指数	8.03%	TOPIXL70	3.12%
その他金融	6.92%	非鉄金属	-0.97%	ミッド400	3.48%	TOPIXバリュー	2.99%
銀行業	6.26%	石油石炭	-0.88%	日経平均株価	3.38%	TOPIXスモール	1.98%
その他製品	5.38%	ガラス土石	-0.19%	TOPIXグロース	3.28%	東証2部	-0.23%
陸運	5.37%	機械	0.68%	TOPIX	3.13%	マザーズ	-10.39%
保険	4.29%	鉱業	0.73%	コア30	3.13%		

● 各国の主要経済指標

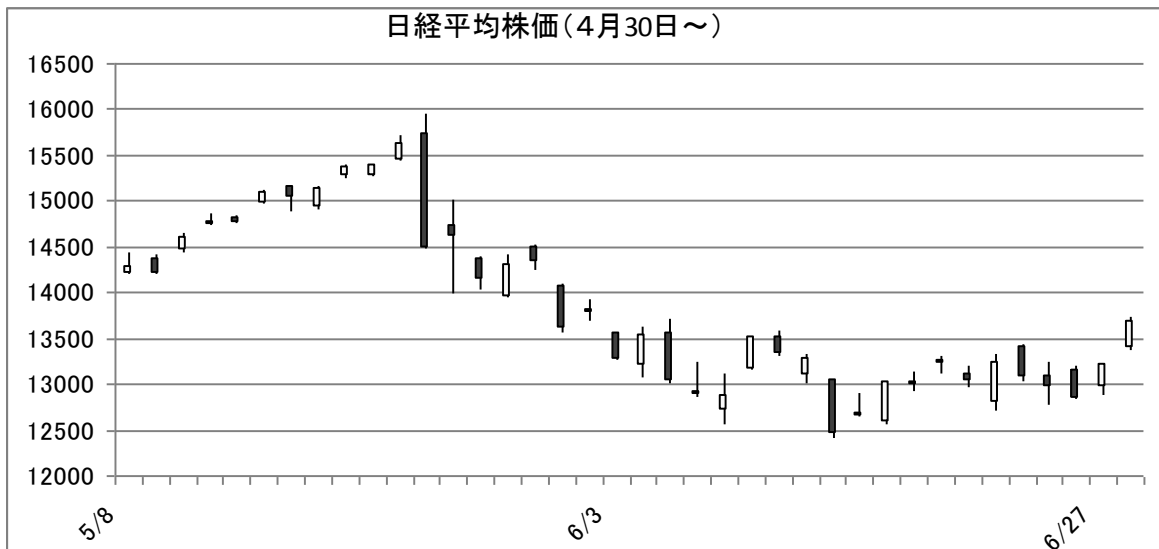
日本の CPI（5 月・前年比）は-0.3%（予-0.4%・前-0.7%）と小幅に改善。失業率（5 月）は 4.1%（予 4%・前 4.1%）、有効求人倍率（5 月）は 0.9 倍（予 0.9・前 0.89）となった。鉱工業生産（5 月・前月比）は 2.0%（予 0.2%・前 0.9%）と予想、前月を上回り、景気の順調な回復が感じられる内容となった。

米国のシカゴ連銀全米活動指数（5 月）は-0.3（予想-0.1・前回-0.53→-0.52）と前回から改善したものの、予想を下回った。ダラス連銀製造業活動指数（6 月）は 6.5（予-1.5・前-10.5）、リッチモンド連銀製造業指数（6 月）は 8（予 2・前-2）となった。新規受注、出荷、雇用の改善が目立つ。耐久財受注（5 月・前月比）は 3.6%（予 3%・前 3.3%→3.6%）となり、設備投資が積極的に行われていることを示した。新築住宅販売件数（5 月・前月比）は 2.1%（予 1.3%・前 2.3%→3.3%）、中古住宅販売仮契約（5 月・前月比）は 6.7%（予 1%・前 0.3%→-0.5%）と住宅市況が順調に回復していることを表す内容となった。消費者信頼感指数（6 月）は 81.4（予 75.1・前 76.2→74.3）とこれも予想を大幅に上回った。個人所得（5 月）は 0.5%（予 0.2%・前 0%→0.1%）、個人支出（5 月）は 0.3%（予 0.3%・前-0.2%→-0.3%）。新規失業保険申請件数（前週分）は 34.6 万（予 34.5 万・前 35.4 万→35.5 万）と前週から減少した。

中国の工業利益（5 月・年初来前年比）は 12.3%（前 11.4%）と伸びている。ドイツの IFO 景気動向指数は 105.9（予 105.9・前 105.7）となった。

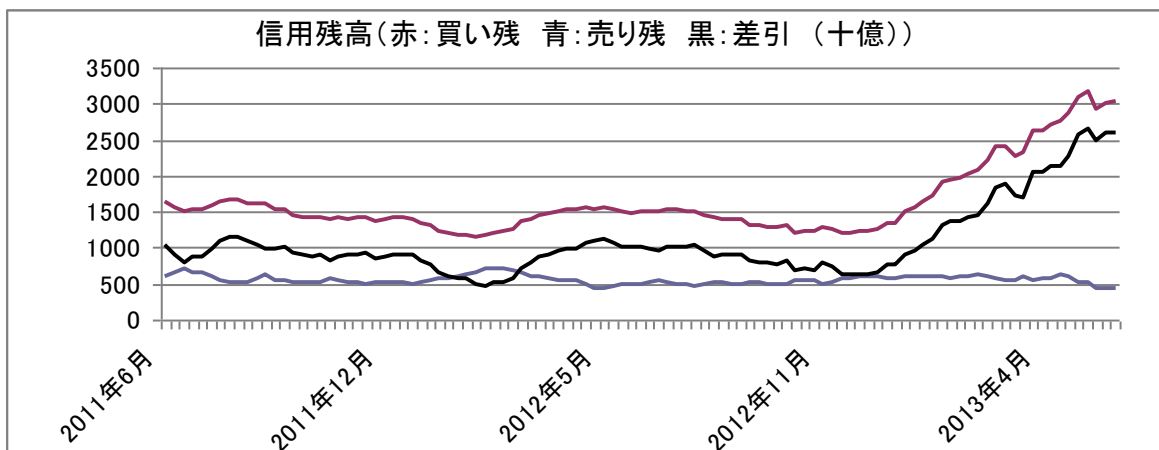
今後の注目材料

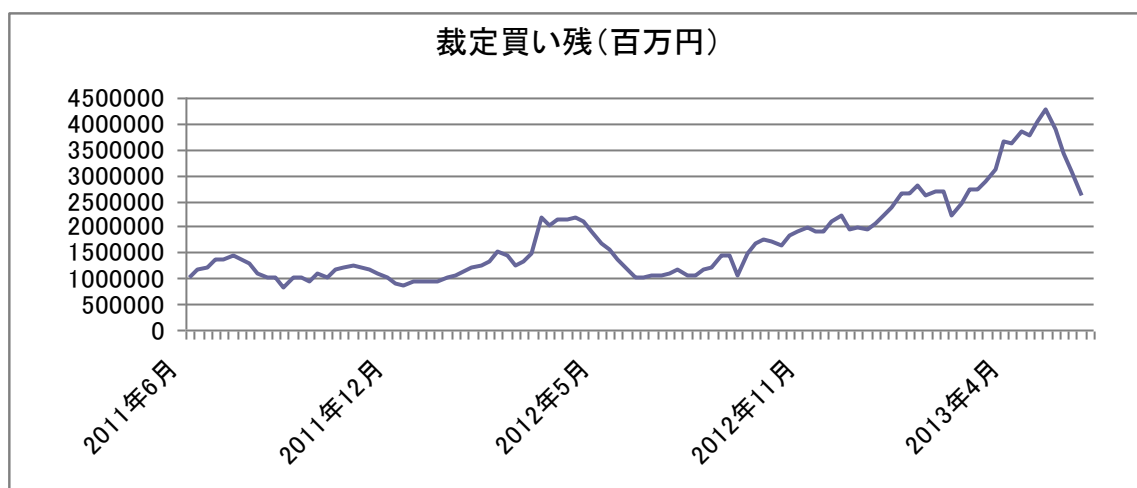
日経平均の週足は 2 週連続で陽線となった。東証一部の騰落レシオも売られ過ぎを示す 80 を割り込む場面もあり、そろそろ反発に入ったと見てよいだろう。参院選が終了するまでは強い展開が継続すると考えている。その後は、日経平均で 12,500－14,500 のレンジで取引されると見ている。今回の下落中に信用買い残高の増加が見られたため、下落開始直後の戻り高値である 14,500 円辺りを抜けるためには何らかの材料が必要となると考えられるからだ。その材料には、秋にも発表されると見られる第二弾の成長戦略が挙げられ、その発表から上値を試す動きとなるのではないだろうか。



需給動向（前週分）

投資部門別売買動向は、海外投資家が買いを継続したが、個人が売りに転じた。信用買い残高は 2 週連続の増加、裁定買い残高は減少している。





	自己	委託	法人	投資信託	信託銀行	個人	海外投資家
2013/6/21	11.26	-24.18	42.22	20.46	-8.89	-105.68	48.72
2013/6/14	-389.61	368.68	81.16	85.81	-61.82	239.51	46.13
2013/6/7	0.18	0.08	-16.12	2.79	-109.21	-141.03	160.82
2013/5/31	-266.77	259.21	170.35	103.72	-21.89	215.67	-127.01
2013/5/24	-31.00	10.99	-407.19	39.39	-465.87	408.00	-4.40
2013/5/17	19.59	1.12	-306.98	27.25	-251.38	-279.28	629.69
2013/5/10	13.50	36.08	-81.42	27.78	-16.70	-552.52	727.12

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会